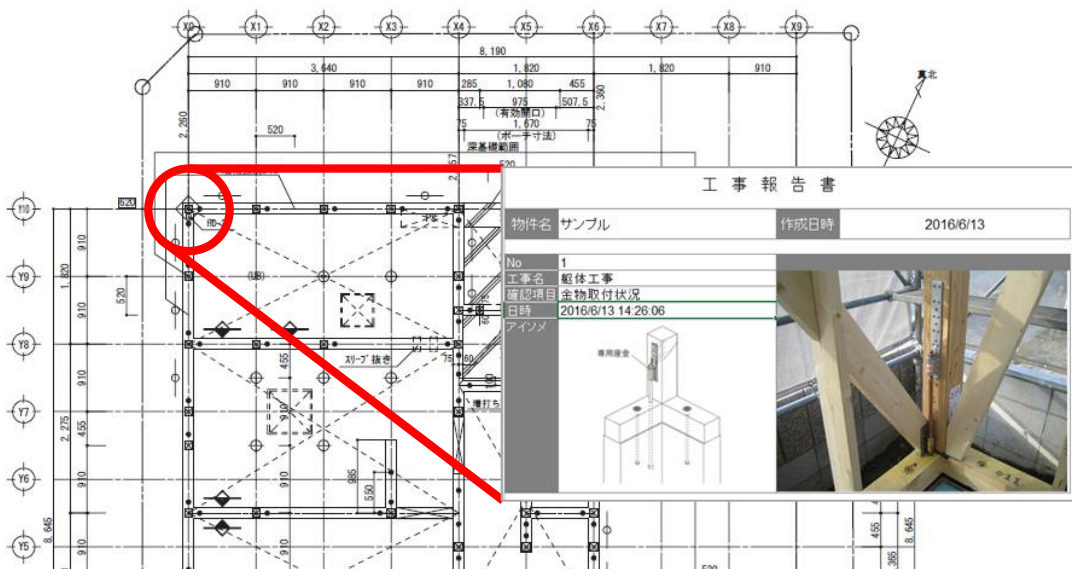


地震で倒壊させない住宅づくり 『住宅性能適合報告書』を残しませんか

7月15日に開催した『熊本地震緊急セミナー』は局所的な集中豪雨に見舞われて京浜東北線が一時運休になったにも拘らず、100名を超える方にご来場いただきました。ご参加いただいた方々は、構造設計のプロから設計事務所や施工会社など幅広かったと思います。それぞれ立場は異なるものの「このような地震被害をおこさないためにはどうしたら良いか」という想いは共通だったと思います。私は耐震性能を証明するために施工監理の必要性についてお話させていただきました。木造軸組みであれば、柱頭・柱脚の接合金物などを構造図面と照らし合わせて下記イメージのように各部写真を残すことができれば、耐震構造の証明ができると思います。更に耐震性能以外の住宅性能も証明する『住宅性能適合報告書』を作成することができれば、作り手と買い手の信頼関係も更に深まるのではないのでしょうか。

皆さまのご意見を伺いながら改善をおこないたいと思いますので、ご意見やご要望がありましたら是非、担当営業までお声がけください。よろしくお願い致します。

代表取締役 内山 岳彦



【夏期休業のお知らせ】

目視録サービス事務局でございます。目視録をご利用いただき誠にありがとうございます。弊社では下記日程を夏期休業とさせていただきます。

この間、目視録サポート窓口もお休みとさせていただきます。

●夏期休業 2016年8月11日(木)～2016年8月15日(月)

お忙しいところ恐縮ではございますが、よろしくお願い申し上げます。

また、関連の方々にもご連絡いただければ幸いです。

8/16(火) 9:00～平常通りの営業とさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

熊本地震の倒壊家屋に関する緊急報告会を横浜で開催しました

前回、ご来場いただけない方々からのご要望も頂戴しており、7月15日に横浜で第2回 熊本地震の倒壊家屋に関する緊急報告会を開催いたしました。

当日は大雨にも関わらず多くの方々にご参加をいただきました。

今回は、2部構成からなるプログラムで行いました。

1部ではM's 構造設計の佐藤 実氏による

『倒壊物件と非倒壊物件ではどのような違いがあるのか』

をテーマに、このような地震で住宅を倒壊させないために

どうすべきかを考え、これに備えるための対策を提言しました。



2部ではエー・エス・デイの『住宅性能を証明する施工監理の必要性』をテーマにリフォームの見える化

として構造設計図書と工事監理の重要性などについて、後半は東昭エンジニアリングの伊藤 勉氏による

『構造設計事務所から見た耐震設計の重要性』をテーマに 4号建築物や簡易計算と許容応力度計算など

について各社のノウハウや知見、技術にもとづく強みを相互連携させたセミナーを行いました。

【セミナー参加者の声】 ※一部をご紹介します

- ① 熊本地震、古い建物の瓦が多数落ちていた。「あえて、瓦が落ちるのを仕組みに
 して、耐震性を保つ。」と言われているが、それはどうなの？
- ② 私の東京では本市東区で、私自身も被災した。東京の建直に比べて熊本の建直は
 緩急の差は、何を模索して日々を過ごす。今日の佐藤氏の話には、へんやうやりの合致と
 つまみ有る義はあつた。



どうい設計や施工をすれば、大地震で倒壊するのかわかりやすく、
 非常に勉強になりました。

当社のサービスなどに関するお問い合わせは以下の電話で受け付けています。

お問い合わせ電話番号

045-478-2482

ぜひ皆さまのご意見をお聞かせください。

お電話の受付日時は、平日9時から18時まで

となっております。（土日・祝日・年末年始を除く）